

## 2012年10～12月期GDP(1次速報)の結果

～実質GDP成長率は前期比 - 0.1% (年率 - 0.4%) とマイナス幅が急縮小～

本日公表された2012年10～12月期の実質GDP成長率は前期比 - 0.1% (年率換算 - 0.4%) と3四半期連続でマイナスとなった。ただしマイナス幅は大きく縮小しており、悪化に歯止めがかかってきた。月次の経済指標では昨年中に景気が底打ちしたことを示唆しているが、実質GDP成長率でも、その可能性を否定するものではない。

前期比でマイナス幅が急縮小した要因は、第一に家計部門の底堅さである。個人消費は所得情勢が厳しい中、サービスや非耐久財への支出が堅調で前期比 + 0.4% とプラスに転じた。住宅投資も着工件数の増加を反映して、同 + 3.5% と3四半期連続でプラスと好調を維持している。第二に、公共投資を中心に官公需の増加基調が続いていることが挙げられる。公共投資は、水準が高まってきたためペースがやや鈍ってきているが、震災からの復興需要による押し上げ効果の持続により同 + 1.5% と4四半期連続で増加した。また、政府消費も同 + 0.6% とプラス基調を維持している。

その反面、企業部門は弱い動きが続いている。設備投資は同 - 2.6% と4四半期連続で前期比マイナスとなった。最近の円安や株高を背景に企業マインドは持ち直しているものの、その効果が実際の企業活動に反映されるのは2013年になってからと考えられる。また、調整圧力の強まりから在庫投資の前期比寄与度は - 0.2% となった。

以上の結果、内需の寄与度は同 + 0.1% と小幅ながらプラスに転じた。一方、外需寄与度は同 - 0.2% と3四半期連続でマイナスとなった。輸出は、中国向けが対日デモの影響で低迷するなど同 - 3.7% と弱い動きが続いている。輸入も、9月の環境税導入前にエネルギーの駆け込み輸入があった反動で減ったことも影響し、同 - 2.3% と落ち込んだ。

名目GDP成長率は同 - 0.4% (年率換算 - 1.8%) となり、経済全体の総合的な物価動向を示すGDPデフレーターは前年同期比 - 0.6% とマイナス幅がやや縮小した(前期比では - 0.3%)。

2013年1～3月期以降は、景気回復の動きが鮮明となっていく可能性が高い。まず、公共投資がプラス基調を維持すると予想される。2012年度補正予算が執行されれば、2013年度前半を中心に景気を押し上げることになるであろう。次に、海外経済の回復を背景に輸出が持ち直してくると期待される。最近の円安も輸出にとってプラス材料である。円安や株高を背景に企業マインドも好転しつつあり、設備投資も徐々に持ち直していくであろう。こうした輸出や設備投資の増加によって、鉱工業生産は、年明け以降は順調に増加していくと予想される。年度後半になると、消費税率引き上げが意識され始め、個人消費には駆け込み需要の動きが出てくるであろう。

その一方で、円安によるマイナス効果も懸念される。円安により輸入物価が急上昇すると予想されるが、調達コストの上昇により企業の利益を押し下げることにつながる。また、輸入物価の上昇は消費者物価の押し上げにつながると予想され、実質賃金の低下を通じて個人消費に悪影響を与えられらる。円安によって輸出数量の増加を促す効果が限られるようであれば、円安はむしろ景気の足を引っ張ることになりかねず、安倍政権の下で高まってきた景気回復への期待感がしぼんでしまうことにもなりかねない。

## 四半期別GDP成長率（需要項目別）

	2011年		2012年				寄与度
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	
実質GDP	2.5	0.2	1.5	- 0.2	- 1.0	- 0.1	---
同 (年率)	10.4	0.6	6.0	- 1.0	- 3.8	- 0.4	---
同 (前年同期比)	- 0.5	- 0.3	3.4	3.8	0.4	0.3	---
内需寄与度 (*)	1.7	0.9	1.3	0.0	- 0.3	0.1	0.1
個人消費	1.4	0.5	1.2	0.0	- 0.5	0.4	0.3
住宅投資	5.0	- 0.9	- 1.7	2.2	1.6	3.5	0.1
設備投資	1.6	8.6	- 2.6	- 0.2	- 3.6	- 2.6	- 0.3
民間在庫 (*)	0.5	- 0.4	0.4	- 0.4	0.3	- 0.2	- 0.2
政府最終消費	0.3	0.3	1.5	0.4	0.4	0.6	0.1
公共投資	- 1.0	- 3.0	8.4	6.1	2.5	1.5	0.1
外需寄与度 (*)	0.8	- 0.7	0.2	- 0.3	- 0.7	- 0.2	- 0.2
輸出	8.7	- 3.1	3.4	0.0	- 5.1	- 3.7	- 0.5
輸入	3.3	1.7	2.1	1.7	- 0.5	- 2.3	0.4
名目GDP	2.3	- 0.1	1.4	- 0.5	- 1.1	- 0.4	---
同 (年率)	9.4	- 0.4	5.7	- 2.2	- 4.1	- 1.8	---
同 (前年同期比)	- 2.4	- 1.8	2.3	2.9	- 0.4	- 0.3	---
GDPデフレーター (前年同期比)	- 1.9	- 1.5	- 1.0	- 0.9	- 0.8	- 0.6	---

(注) 内需寄与度、民間在庫、外需寄与度は実質GDPに対する寄与度  
(出所) 内閣府「四半期別GDP速報」

## 三菱UFJリサーチ &amp; コンサルティング株式会社

調査部 小林 真一郎 ( chosa-report@murc.jp )

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2

TEL: 03-6733-1070

## - ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ & コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。